2016年 10月 2日 《誕生祝福式》

拝 主 H 礼

①8時半~

②10時半~

③夜7時~

会 司

①石井師

②白川 達男兄

③石井師

楽 奏

祈 祷 1)石井師 ②小山 美枝子姉 ③石井師

替 美 聖歌481番 & 「Once Again I

使徒信条

聖 書 ①コリント人への第二の手紙6章1~10節

②マルコによる福音7章31~37節

特別賛美

松岡姉·渡辺姉·青木姉〔聖歌476番〕

メッセージ ①「神と共に働く恵み」大川従道牧師

②「天よりも高い主の道」石井 潤牧師

擜 金 聖歌231番

[献金当番:青木姉・和田姉]

祝 祷

お知らせ

【司会者】

「喜びがある」

<u>礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!</u> **《今週のお知らせ》**

- 1. 本日より、昼食のカレーが再開します。良い交わりの時を持ちましょう!
- 2. 本日午後1時~、西田先生のご指導による聖歌隊の練習が行われます。
- 3. 明日午前 11 時半~、長野市の寺澤姉宅にて家庭集会が行われます。
- 4. 今週の祈り会は、①木曜朝 10 時半~、②夜7時半~、メッセージは、 大川従道牧師(大和祈祷会映像) ③土曜夜8時~、準備祈祷会(石井師)。
- 5. 来週日曜礼拝後の昼食はありません。(翌週 16 日に昼食と執事会)

10/10(月・祝):「チャペルコンサート」(ボーマン師・2時) 16(日):執事会 23(日):聖歌隊 24(月):長野家庭集会 27(木):WOGA 集会

一年に一回聖書を完読できる! <i>Bible Reading Plan</i> 〔10/2~/9〕																
date	本日		月		火		水		木		金		土		日	
旧約	イザヤ 24ー26章		27· 28章		29· 30章		31- 33章		34- 36章		37· 38章		39· 40章		41· 42章	
新約	エペソ 4章		5章		6章		ピルピ 1章		2章		3章		4章		コロサイ 1章	
チェック	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新

「天よりも高い主の道」

~神様の御心と私たちの思い~

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道と は異なっていると主は言われる。天が地よりも高いように、わが道は、あな たがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。|

イザヤ55章9節

私たちは人生の岐路に立たされるとき、迷い悩んでしまうことがあります。そんな中で、どの ように人生の選択を決めていくべきなのか?時々、楽な道と難しい道で悩んだときは、難し い道を選んだ方がいいという言葉を聞くことがあります。

大川先生が以前に何度もご紹介して下さった、「ニーバーの祈り」と言われる祈りのことば の小さな額が牧師室に飾られています。

"God grant me the serenity to accept the things I cannot change,

Courage to change the things I can,

And the wisdom to know the difference."

これは、「The Serenity Prayer(平静の祈り・静穏の祈り)」と呼ばれる祈りで、ラインハ ルト・ニーバー(20世紀の学者・説教者=Reinhold Niebuhr 1892-1971)がアメリカで出版 した書物から世界に広められたそうですが、元々はフリードリッヒ・エッチンガー(18世紀の哲 学者・神学者)がドイツ語で最初に語ったそうです。

「神よ、変えることのできない事柄に関しては、安らかな心で受け入れることができま すように。変えることができる事柄ならば、勇気を持って変えることできますように。 そして、そのいずれであるかを知ることができる知恵を授けたまえ。|

これは以後、様々な困難に立ち向かう人々のための祈りとして用いられてきたものでもあ ります。

最近読んだ、エド・シルボソ先生の「変革の鍵」という書物の中で、エド先生がクリスチャン 実業家として、仕事の内容で苦しみ悩み挑戦するときに、「ジーザス・チェア(イエス様の椅 子)」というのが備えてあって、その部屋に入って戸を閉じて、熱心に主に委ねて祈ることを通 して、その度ごとに奇跡を経験し、祈りが聞かれてきたことを通して、現実の生活を通して、 主が先生に油を注いでくださって、そのビジネスにおける油注ぎを与えてくださったというお話を ご紹介しておられました。主は私たちのマーケット・プレイス(実生活の現場)で私たちが立ち 向かう一つ一つのできごとに油を注いでくださっていることを語っておられました。私たちの祈り が、やがて主の御心と一致していくことを主は求めておられると感じています。限られた人生 の中で、少しでも主の御心を理解でき、体験できる歩みを共にしていきたいと願います。